

理数科通信

岩手県立水沢高等学校
第2号 令和4年6月27日 発行

3年理数科課題研究最終発表会

6月22日（水）に3年理数科課題研究最終発表会を実施しました。3年理数科35名は昨年度の4月から10のグループに分かれて課題研究に取り組んできました。1年3ヶ月に渡って取り組んだ課題研究の成果を2年理数科39名と担当した数学・理科の先生方、および教育実習生に報告しました。今回の発表では、昨年1月に行った発表会以降に取り組んだ内容を中心に発表を行いました。どのグループも、時間がない中で実験等に取り組み、研究をより深化させることができていました。



今後、3年生は研究の成果を論文とポスターにまとめる作業に取り組めます。そして、論文は4つの外部コンクールに応募する予定になっています。また、いくつかのグループは8月から9月にかけて行われる外部での発表会に参加することになっています。

【3年生の感想】

発表資料を作成している途中で、この考察はどうなのか、この流れで良いのかなど、たくさん考えることがありました。それによって、課題や研究に対する理解が深まりました。もっと理解を深めて、他のことにも繋げていきたいです。

どの班も、1年前に比べて研究内容がより洗練され、発表姿勢もより堂々としていて、研究者としての成長が見られてとても嬉しく思いました。私たちは9月に京都で発表会があるので、それに向けて準備を行っていききたい。

今回は発表を聞いている人がどのくらい理解しているかを見ながら発表するため、あえて台本を用意せずに発表した。自分が思っていた以上にアドリブ力がついていて、発表する力も少しずつ身についていることを感じた。

自分たちが取り組んできた研究をしっかりと聞いてもらうことができよかった。研究を始めた時よりも、知識や技能が向上した。研究をすること自体とても楽しかったのでやってよかったと思いました。

1年生の頃に比べて、発表を批判的に見られるようになった気がする。スライドでの説明ではイラストを用いて理解しやすくし、大切なところはゆっくりと話すことで強調したり、表現についても多くを学ぶことができた。

それぞれが自分の知りたいと思った研究に真剣に向き合って取り組めたことがこの発表でわかりました。研究は思い通りにいかないことが多いし、時間もかかるけど、何かを突き詰めていくことはとても楽しいことだと改めて感じました。大学でもさらにレベルの高い研究がしたいと感じた。